

東北に想いを寄せて

● 大阪府生活協同組合連合会による 福島県視察研修へ行ってきました



福島県にて 2024年10月8日(火)～9日(水)

福島県の地震、津波被害、原発事故の状況や現状、今後の課題について学ぶため、よどがわ市民生協からは組合員理事と職員の計6人で参加しました。



参加した組合員理事よりレポート

1日目

福島第一原発では、未だ瓦礫の残る原子炉建屋と、全身防護服を着て作業する人を目の当たりにし、現実のこととして強く胸が痛みました。廃炉にはまだ数十年かかり、子どもや孫の代まで続く作業を思うと、原発事故がどれだけ重大であったか考えさせられます。



私たちは福島第1原発の事故から学んだことを忘れずに、福島のとこれからを知ること、家族や身近な人と話をすることを続けていきたいと思えます。

2日目

双葉町、浪江町のフィールドワークでは、中間貯蔵施設に山のように積まれた除染土の入ったフレコンバックを見ました。除染土は2045年までに全量(東京ドーム11杯分)を福島県外で国が責任を持って最終処分することが法律で決まっています。私たちの住む街が選ばれるかもしれません。決して福島県だけの問題ではなく、私たち一人ひとりが関心を持ち、自分のこととして考えなければならない問題です。

● 2025年度 入協内定者に向けて東日本大震災被災地研修を実施しました



岩手県陸前高田市にて 2024年11月29日(金)～12月1日(日)

職員と2025年度入協内定者と合計11人にて、陸前高田市の震災遺構見学、桜ライン311植樹会(津波の到達点に桜を植樹する活動)に参加しました。研修の中で現地の人たちともたくさん交流し、被災当時の悲痛な記憶や伝えたい思いを伺うことができ、災害に対する意識や行動を考える機会になりました。



2025年度東北支援募金ご協力をお願い

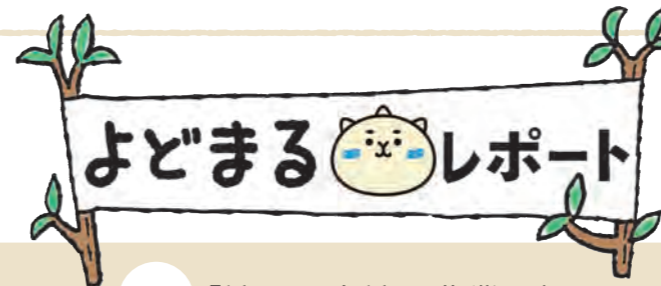
この募金は、『福島復興ステーション(福島)』『遠野山・里・くらしネットワーク(岩手)』に届けられ、福島県では原発事故からの復興、岩手県では復興公営住宅のコミュニティづくりなどの地域交流の取り組みに使用されます。「14年経っても、私たちは忘れない」という想いととも、協同の力で支えていきましょう。

期間 3月2回～4月2回

募金方法 注文書の募金カンパ欄「1417」に個数(100円単位)を記入してください。またインターネット注文「eフレンズ」でも募金できます。

※この募金は、所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

ご協力よろしくお願ひいたします



031 『地元の産地と農業を知る』 産地見学を実施

ヤーコンの産地研修に行きました!

よどがわ市民生協の独自商品として、毎年『豊能町産ヤーコン』を企画しています。豊能町役場や生産者とよどがわ市民生協役職員・組合員理事・委託担当と合同で収穫・調理体験研修を実施しました。よどがわ市民生協配送エリアの特産品を学ぶとともに、作り手の思いやこだわりなど、豊能町の農業の実態を見て実感することを目的としています。



【よどがわ市民生協の 配送エリア豊能町にて】

- ヤーコン生産者の圃場での収穫体験
- 高山コミュニティセンターでのヤーコンを使った調理体験



【参加して…】

豊能町役場や生産者との昼食交流を通じて、ヤーコンを身近に感じ、生産者の苦勞(手作業やロスの発生)、豊能町が抱える農業問題(人口減少や高齢化)の現状を知り考える貴重な機会となりました。



今後も地元の産地と農業を維持発展するための『知り・学ぶ機会作り』のために、産地研修を実施します。

これからもずっと応援!

よどまる応援基金報告④

みなさんの募金で約11万円分のお菓子を購入し、子ども食堂などに提供しました!



コープ商品の野菜バー、アレルギーフリーのラムネ菓子、チョコレートの3種類



※次回繰越金の319,584円は、次回の商品購入代金につかわせていただきます。

【よどまる応援基金】収支報告 (単位:円) (期間:2024/11/21~2025/1/20)

12 ・ 1 月 度	収入の部		支出の部	
	項目	実績	項目	実績
	前回繰越金	411,670	お米購入代	34,000
	募金(12・1月度)	57,400	お菓子購入代	115,486
	合計	469,070	次回繰越金	319,584

今回はいつもの食材に プラスして♪

よどがわ市民生協は、子ども食堂やシングルマザー支援団体などを支援する目的で食材を提供しています。今回はみなさんの募金のおかげでいつもの食材プラスお菓子を提供することができました。



食材を提供している団体の中から 『いやし園ぶくぶく食堂』さん (摂津市)を訪問しました

この日は食材提供したお米とコーンが炊き込みごはんになっていました。お菓子は『お年玉』として、子どもたちにプレゼントをしていました。「お菓子はもともともらえる先が少ないのでとてもうれしいです!定期的に食材をいただけるおかげで、運営費を手作りゲームの材料などの購入に充てることができます。募金をいただいた組合員のみなさん、本当にありがとうございます(スタッフの原田さん)子どもたちも「これ、大好きなやつー!」と喜んでくれました♪



よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支援していきたいと考えています。

【よどまる応援基金】にご協力をお願いいたします!



毎週受付中～♪

● よどまる応援基金のご案内 ●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(1=100円)を記入。インターネット注文「eフレンズ」でも募金できます。

